

住宅改修が必要な理由書 1ページ（記入例）

<基本情報>

利用者	被保険者番号	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	年齢	76 歳	生年月日	明治 大正 〇〇 年 〇 月 〇 日 昭和	性別	☒ 男 ☐ 女	作成者	現地確認日	平成 〇〇 年 〇 〇 日	作成日	平成 〇〇 年 〇 月 〇 日
	被保険者氏名	介護 一郎	要介護認定 (該当に〇)	要支援	要介護					所属事業所	〇〇ケアプランセンター ㊞		
				1・2	経過的 ・ 1 ・ ㊟ ・ 3 ・ 4 ・ 5					資格 (作成者が介護支援専門員でないとき)			
	住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 橋本市〇〇								氏名	〇〇 〇〇 ㊞		
										連絡先	〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇		

保険者	確認日	平成 年 月 日	評価欄	
	氏名			

<総合的状況>

利用者の身体状況	福祉用具の利用状況と	住宅改修後の想定		
		改修前	改修後	
利用者の身体状況	平成24年5月23日より〇〇病院に入院し脳梗塞との診断を受ける。8月30日に退院。脳梗塞の後遺症が残り、左下肢にマヒがある。現在、起き上がりは物につかまれば可能。屋内、屋外ともに歩行は、ゆっくりだがつたい歩きが可能。	●車いす	☐	☐
介護状況	対象の家屋は昔ながらの日本家屋であるため、動線上に土間があり段差部分を通らざるを得ない。2階に長男夫婦が起居しているが、ほとんど介護に関与しない。また仕事に出るため、対象者は日中独居の状態である。日中は1階で生活しているが、寝室は2階にある。外出時(散歩、通院、デイサービス)は玄関を利用しているが、庭の手入れが生きがいであり、勝手口から庭に出ることもある。	●特殊寝台	☐	☐
		●床ずれ防止用具	☐	☐
住宅改修により、利用者等は日常生活をどう変えたいか	①浴室 浴槽横の壁に横手すりを設置する。浴槽内へ入る際の跨ぎ動作を安定させ、転倒を予防する。 ②トイレ 便器横の壁にL字型手すりを設置する。立ち座りの動作及び排泄動作を安定させ、転倒を予防する。 ③勝手口 勝手口横の壁に縦手すりを設置する。勝手口の段差昇降動作を安定させ、転倒を予防する。 ④階段手すり 2階へ上がる階段に手すりを設置する。2階にある寝室へ上がる際、降りる際の動作を安定させ、転倒を予防する。 ⑤土間 居室から土間へ降りる部分に段差解消台を設置する。居室と土間との昇降動作を安定させ、転倒を予防する。 ⑥玄関 玄関から駐車場へのアプローチの砂利部分をコンクリートで舗装する。外出時に必ず通る箇所だが、通るたびに転倒している状態なので、安全に通行できるようにする。	●体位変換器	☐	☐
		●手すり	☐	☐
		●スロープ	☐	☐
		●歩行器	☐	☐
		●歩行補助つえ	☐	☐
		●認知症老人徘徊感知機器	☐	☐
		●移動用リフト	☐	☐
		●腰掛便座	☒	☒
		●特殊尿器	☐	☐
		●入浴補助用具	☐	☐
●簡易浴槽	☐	☐		
●その他				
・	☐	☐		
・	☐	☐		
・	☐	☐		

<1ページの「総合的状況」を踏まえて、①改善をしようとしている生活動作②具体的な困難な状況③改修目的と改修の方針④改修項目を具体的に記入してください。>

活動	①改善をしようとしている生活動作	②①の具体的な困難な状況(…なので…で困っている)を記入してください	③改修目的・期待効果をチェックした上で、改修の方針(…することで…が改善できる)を記入してください	④改修項目(改修箇所)
排泄	☐ トイレまでの移動 ☐ トイレ出入口の出入(扉の開閉を含む) ☒ 便器からの立ち座り(移乗を含む) ☒ 衣服の着脱 ☐ 排泄時の姿勢保持 ☐ 後始末 ☐ その他 ()	移動はつたい歩きでなんとか可能。左下肢にマヒがある。 便座への座位はつかまるものがないため困難。特に立ち上がり動作に苦慮している。	☒ できなかったことをできるようにする ☒ 転倒等の防止、安全の確保 ☒ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 介護者の負担の軽減 ☐ その他 ()	便器横にL字型手すりを設置することで、便器への移乗、立ち座りの動作が改善できる。 ☒ 手すりの取付け (トイレ立ち座り用 L字型手すり) (浴槽跨ぎ支援 横手すり) (勝手口扉付近壁面 縦手すり) (階段昇降用 横手すり)
	☐ 浴室までの移動 ☐ 衣服の着脱 ☐ 浴室出入口の出入(扉の開閉を含む) ☐ 浴室内での移動(立ち座りを含む) ☐ 洗い場での姿勢保持(先体・洗髪を含む) ☒ 浴槽の出入(立ち座りを含む) ☐ 浴槽内での姿勢保持	浴槽内へ入る際の跨ぎ動作時に転倒の不安があり危険。	☒ できなかったことをできるようにする ☒ 転倒等の防止、安全の確保 ☒ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 介護者の負担の軽減 ☐ その他	浴槽内へ入る際の跨ぎ動作を安定させ、転倒を予防する。 ☐ 段差の解消 (居室から土間への出口に踏み台設置) () ()
外出	☐ 出入口までの屋内移動 ☐ 上がりかまちの昇降 ☐ 車いす等、装具の脱着 ☐ 履物の脱着 ☒ 出入口の出入(扉の開閉を含む) ☒ 出入口から敷地外までの屋外移動 ☐ その他 ()	勝手口から庭に出る際、段差があり転倒の危険がある。 また、玄関から駐車場へのアプローチ部分に砂利道になっている部分がある。外出時に必ず通る箇所だが、通るたびに転倒している状態。	☒ できなかったことをできるようにする ☒ 転倒等の防止、安全の確保 ☒ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 介護者の負担の軽減 ☐ その他 ()	勝手口横の壁に縦手すりを設置することで、勝手口の段差昇降動作を安定させ、転倒を予防することができる。 玄関から駐車場へのアプローチの砂利部分をコンクリート舗装することで、安全に通行でき、危険性を改善できる。 ☐ 引き戸等への扉の取替え () () ☐ 便器の取替え () ()
その他の活動	☒ 2階への階段の昇降 ☒ 居室と土間の昇降	寝室がある2階へ上がる際、転倒の危険がある。 居室から土間へ降りる際、また土間から居室へ上がる際、40cmの段差があるため、昇降が困難であり転倒の危険性がある。	☒ できなかったことをできるようにする ☒ 転倒等の防止、安全の確保 ☒ 動作の容易性の確保 ☐ 利用者の精神的負担や不安の軽減 ☐ 介護者の負担の軽減 ☐ その他 ()	2階へ上がる階段に手すりを設置することで、寝室へ上がる際、降りる際の動作を安定させ、転倒を予防する。 居室から土間へ降りる部分に段差解消台を設置することで、居室と土間との昇降動作を安定させ、転倒を予防する。 ☒ 滑り防止等のための床材の変更 (玄関から駐車場へのアプローチ部分のコンクリート舗装) () ☐ その他 () () ()